

農林中金キャピタル戦略協創ファンドを通じた Natural Capital Research Limited への出資について

農林中央金庫(代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」)は、農林中金キャピタル戦略協創ファンド(以下「本ファンド」)を通じて、企業向けに自然・生物多様性関連データサービスを提供する Natural Capital Research Limited (本社：英国、CEO：Sebastian Leape、以下「Natcap」)に出資しましたのでお知らせいたします。

○出資の背景

2022年12月に開催されたCOP15¹において新たな国際目標として「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、ビジネスの世界でも自然や生物多様性を巡る課題について認知が進み、官民ともにネイチャーポジティブ、自然と共生する社会の実現に向けた取組みが加速しています。企業にはカーボンニュートラルに向けた気候変動対応に加えて、ネイチャーポジティブに向けた取組みも求められ始めています。CSRD²やTNFD³といった開示枠組みの策定もその流れを加速しています。

Natcapはそうした企業に対して、自然・生物多様性に関連するリスクと機会を定量化し、ネイチャーポジティブに向けた経営戦略の策定を支援するサービスを提供しています。

引き続き、当金庫は、サステナブル経営の取組みやNatcapをはじめとした本ファンドによる出資を通じて、農林水産業の発展とカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、そしてサーキュラーエコノミーの実現に貢献してまいります。

○出資先について

会社名：Natural Capital Research Limited

所在地：イギリス ロンドン

設立：2018年

事業内容：企業向けに自然・生物多様性関連データサービスを提供

ホームページ：<https://www.natcapresearch.com/>

¹ 生物多様性条約第15回締約国会議

² EUの企業サステナビリティ報告指令 (Corporate Sustainability Reporting Directive)

³ 自然関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

○農林中金キャピタル戦略協創ファンドについて

本ファンドは、農林中央金庫のイノベーション投資の取組みの一貫として、AgVenture Lab⁴を含め、JA・JF・JForest グループのネットワークを活用しながら、「サステナブル」と「農林水産業」と「暮らし」にかかわる課題解決とゆたかな「社会」の実現に取り組む優れた国内外のスタートアップ企業へ投資を行い、グループとの協創推進等を目的とするコーポレートベンチャーキャピタルファンドです。

| | |
|---------|--|
| 登記上の名称 | 農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合 (Norinchukin Capital Strategic Co-creation Fund I Investment Limited Partnership) |
| 無限責任組合員 | 農林中金キャピタル株式会社（農林中央金庫100%子会社） |
| 有限責任組合員 | 農林中央金庫 |
| 投資対象 | 社会的意義・インパクトのある課題に取り組むAgtech、Foodtech、Fintech、Lifetech、Climatech分野等の国内外スタートアップ企業 |

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班（宮澤、藏方）TEL:03-6362-7172

⁴ 農林中央金庫を含む JA グループ全国連 8 団体が運営するインキュベーションラボ